



私たちの湘南御行会だより

湘南御行会発行

平成 28 年 9 月 10 日 175 号

恒例！ 夏祭り「友愛バザー」今年も盛況でした

朝から生憎の小雨模様、開催が危ぶまれました友愛バザーは、今年も無事に終了しました。

皆様から頂いた大切なバザー用品も大勢のお客様の関心を集めて販売できました。

バザー出品にご協力いただいた方、そして購入していただいた方、有難うございました。

恒例のお赤飯は、ほぼ完売。昨年から販売を始めた、玉こんにゃくは、160本を完売、天気が良ければ200本の大台も伺えるほどの人気でした。冷たいビールがあれば更に売上は伸びそうです。来年の課題とします。利益金は湘南御行会の大切な活動費に使わせていただきます。 岩田記



防災訓練

9月3日（土）町内会防犯訓練が実施されました。この夏は台風の接近で境川上流も避難勧告となり、片瀬にも勧告が出される寸前でした。そんなことから災害を身近に感じ、参加者は真剣そのものでした。

湘南御行会からも、沢山のメンバーが参加し、若しもに備えて本番さながらの防災訓練でした。

御行では災害時、家族の無事を知らせる為の目印として、表に掲げる黄色い布が配布されています。避難場所に行かなかった会員の皆様、黄色い布を表に出しましたか？災害時にはこの布の有無を町内役員が確認し、救助、現状報告などの行動をとります。少なくとも防災訓練の時は黄色い布を判るところに掲げましょう。

引き続き、片瀬地区の訓練が片瀬小学校で開催され、こちらも有意義な訓練となりました 岩田



夕焼け小焼けの、あかとんぼ、おわれてみたのはいつの日か。ご存知、童謡「あかとんぼ」の冒頭の部分です。私は子供の頃この歌は、姉さんと一緒に、誰かに追いかけられながら「あかとんぼ」を見た歌かと思っていました。しかし大人になって「おわれて」は「追われて」ではなく「負われて」であることを知り、この歌に興味を持ち、少し調べて見ましたら、正に目からウロコ、心にジーンと迫る歌で有ることが判り、詞の心の深さに感動しました。これから次第に赤とんぼが飛び交う季節になります。この歌の意味をご存知の方も、しばらくお時間をください。



夕焼け小焼けの赤とんぼ おわれてみたのは いつの日か
山の畑の桑の実を 小かごに摘んだは まぼろしか
十五で姐（ねえ）やは嫁にいき お里の便りも絶えはてた
夕焼け小焼けの赤とんぼ とまっているよ竿の先



「赤とんぼ」は、大正 10 年に作詞は三木露風、作曲は山田耕で発表されました

この詞の心を色々な人が述べていましたが、私が感銘したこの詞の解説を引用し触れてみたいと思います。

詞の内容は露風自身の幼少時代の思い出を正直に書いたものと言われています。

露風は兵庫県竜野市生れ、5 歳の時両親が離婚することになり、父方の祖父に養育されることになったのだそうです。実際には子守り奉公の「姐や」に面倒を見てもらい、そのときの印象を歌にしたものとのことです。一緒にいたのは姉ではなく、「姐や（ねえや）」つまり、12~3 歳位の女の子でした。詞の第一節、は「姐や」の背中に背負われて肩越しに見た夕焼けという意味です。「姐や」といっても 15 歳で嫁に行ったのですから、当時の農家は赤貧の為に、口減らしの意味からも多くの女の子が子守り奉公に出て、しばらくして嫁いでいったわけですが、嫁入り先の農業労働力としての意味もあり、その後の「姐や」も働きづめの一生涯を送ったのでしょね（想像ですが）

また、「お里の便りも絶えはてた」の意味は、「姐や」が嫁に行ってから彼女からの便りがなくなったとも取れますが、深く読むと、作者のお母さんは離婚し実家に戻っています、その母が実家の近くの娘を我が子（露風）の子守りの為に、離縁先に奉公に出すように策を講じます。その結果作者は「姐や」からお母さんの様子を聞くことが出来たのです。母も又「姐や」から我が子の様子を、知らせてもらったのではないのでしょうか。しかし「姐や」も嫁に行くことになって、もうお母さんの消息も聞くことが出来なくなったという意味だと思います。

次にこの歌の締め。第一節の「夕焼け小焼け」は幼少時代の思い出です、最後第四節の「夕焼け小焼け」は、あれから幾年月を経た今見る風景であり、実に時空を越えた詞の内容なのです。この詞の中に 3 つの叙情がひとつの思いに重なりあっています。ひとつは、真っ赤な夕焼けと赤とんぼの、美しくそして鮮烈な情景、忘れえぬ情景。ふたつは、姐やの背中に感じる体温の暖かさと、「姐や」へのほのかな恋慕の情（クワの実を一緒に摘んだ思いで、背負われた温もり）。そしてみつめは、もう会う事が出来ない、母への強く切ない未練の心。この短い詞の中に万感の思いが込められていたわけで、だからこそ時代を超えて私たち日本人の心を揺さぶる理由がそこにあったのですね。昔の童謡・唱歌は素晴らしいです。日本には多くの童謡が有ります。その歌詞が何を訴えているのか、秋の夜長にその心に触れてみるのも面白いかと思います。「叱られて」「小さい秋見つけた」等々沢山有ります 岩田記

編集後記

今後の主な行事予定

- ◎9月11日（日）御行町内クリーンキャンペーン
- ◎9月16日（金）片老連日帰り旅行
- ◎9月21日（水）片老連役員定例会
- ◎9月29日（木）御行会役員会
- ◎10月20日（木）市老連グランドゴルフ大会
- ◎10月22（土）～23日 片瀬ふれあい祭り
- ◎10月25日（火）片老連会長研修会
- ◎10月27日（木）御行会役員会
- ◎11月12日（土）緑と花いっぱい推進集い
- ◎11月17日（木）御行会誕生会

9月、朝夕だいぶ涼しくなってきました。

いよいよ秋本番。外に出て身体をリフレッシュしましょう。

私事、運転免許証の更新を行いました。70歳を過ぎると高齢者講習を受けなければなりません。半日かけて藤沢本町の自動車講習場で受講、その後に藤沢警察に更新手続きに行く必要が有ります。写真を準備し手続きしたら更に約一ヶ月後、免許証を受け取りに行きます。ところが同じ手続きを鎌倉警察で行うと写真も無料で撮影してくれて、申請後5分、その場で新しい免許証を頂けます。ピクラポン。時間と写真代の節約。勿論私はいざ鎌倉へ、これ不思議ですね 岩田